



ICT活用場面

高校2年 数学Ⅱ
「三角関数」
(全9時間扱い)

準備するもの

- ・マグネットスクリーン
- ・タブレット
- ・グラフ描画アプリ(ブラウザ版)
- ・プロジェクタ
- ・ワークシート

インターネットの利用

有

ICT活用のメリット

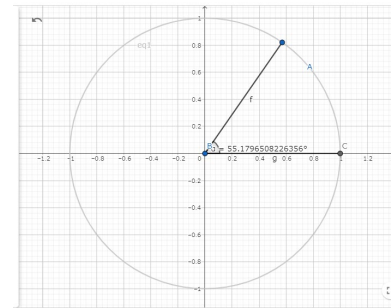
- 生徒たちが個々にタブレットを操作し、主体的にグラフ等を作成することにより、視覚的に考察することができるため、本時のねらいの理解につながる。
- 生徒たちが互いのタブレット画面を共有しながらペアで協働的に学習を進めたり、その他の生徒の考え方などを共有しながら話し合ったりすることにより、深く学ぶことができる。

授業の流れ(1/9時)

ねらい：「度数法→弧度法」の変換 ができる

〔主な学習活動〕

- ① 本時の課題を把握する。
- ② 定義を理解する。
- ③ 個別またはペア等でタブレットを操作しながら、度数法と弧度法の変換方法について考察し、対応表を埋める。



度数法	0°	30°	45°	60°	90°	120°	135°	150°	180°
弧度法									

度数法	210°	225°	240°	270°	300°	315°	330°	360°
弧度法								

(↑生徒が操作するタブレットの画面)

※ 本授業用に設定済

(↑対応表)

- ④ 全体で協議する。
- ⑤ まとめ・振り返りをする。

生徒の声や教師の振り返り

- ・「弧度法は円周と関係している」ことを理解できた。(生徒)
- ・度数法から弧度法の変換について、ICTを活用した視覚的な理解も加わり、定義や性質の理解につながった。(教師)